

リケジョ - 未来 合同シンポジウム2019

サイエンスの学びから将来の夢へ

- ◆ 日時 : 2019年4月20日(土) 14時~17時
- ◆ 会場 : お茶の水女子大学 大学本館 306室
- ◆ 対象 : 女子高校生・中学生、保護者、教員、女子大学生・大学院生
- ◆ 参加費 : 無料
- ◆ 主催 : お茶の水女子大学・奈良女子大学 理系女性教育開発共同機構
- ◆ 後援 : 国立女性教育会館(予定)

多くの理系女性が、研究を始めとして多様な職種で活躍しています。「なぜ理系を選んだか、理系を選んで何がよかったか、大学での学びがどのように役立っているか」を含めて、先輩たちの経験を聞き、直接お話ししてみましょう。きっとあなたの将来に向けてヒントがありますよ。

開会挨拶

講演(14:05~15:45) 講演者(敬称略、カッコ内は学生時代の在籍分野)



中條 佑美(生物科学) 株式会社 日立製作所 社会システム事業部

『私の理系散歩(仮)』

中学時代、本の虫だった私は、高校で化学科進学を希望し、大学と大学院で生物を学び、現在はシステムエンジニアとして働いています。興味の向くままに、いろいろな分野を歩いてきた私の経験についてお話しします。



深澤 慶子(住環境学) 豊島区 豊島区都市整備部 都市計画課

『試しに建築学んでみたら、こうなりました』

なんとなく面白そうだと漠然とした思いで、住環境学(建築)の道に入りました。現在、行政でまちづくりの仕事に携わっています。仕事や学生時代に学んだこと、進路選択で考えたことについてお話しします。



戸井 智子(化学) 帝人ファーマ株式会社 医薬開発推進部

『生きものの命にかかわる仕事がしたい~薬をつくる~』

私が理系に進んだ理由は単純で、得意で好きな教科が化学だったからです。大学で有機化学を学んでからは「生きものの命にかかわる仕事がしたい」と思うようになり、今もその気持ちは変わっていません。



齋藤 尚子(情報科学) 国立大学法人 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター

『好きこそ物の上手なれ』

「面白い、続けたい」という気持ちだけで、中高生の頃は全く考えていなかった研究者の道に進みました。現在は、人工衛星のデータを用いて地球環境に関する研究を行っています。皆さんに研究の「面白さ」をお伝えしたいです。

パネルディスカッション(15:55~16:25)

閉会挨拶

- ◆ 閉会后、茶話会(16:35~17:00) ※講演者や学生とお話しできます
- ◆ 申込み・問い合わせ先

申込フォーム <https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/stem/godo2019>

から、またはE-mail、FAXで『リケジョ・未来合同シンポジウム参加希望』

と書き、氏名(学校名/学年/連絡先/茶話会参加の有無)を明記の上

4/18(木)までにお申し込みください。

お茶の水女子大学 理系女性教育開発共同機構

E-mail: coreofstem-sympo@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5825 FAX: 03-5978-2650

要申込
定員100名